



令和元年東日本台風の被害を踏まえた
日本大学工学部「キャンパス強靱化プロジェクト」の
中間報告を行います



ターゲット 13.1

令和2年3月25日

郡山市建設交通部

河川課

担当：池田 剛

TEL：924-2701

SDGs ターゲット 13.1 「気候関連災害や自然災害に対する強靱性（レジリエンス）及び適応の能力を強化する」

令和元年東日本台風の被災を踏まえ、日本大学工学部「キャンパス強靱化プロジェクト」の
中間報告を行います。

- 1 日時 3月27日(金) 午後3時～午後3時30分
- 2 場所 市役所庁議室（本庁舎2階）
- 3 報告者 日本大学工学部
土木工学科 教授 岩城 一郎 様
土木工学科 教授 金山 進 様
建築学科 教授 森山 修治 様
情報工学科 准教授 中村 和樹 様
- 4 出席者 郡山市長
吉崎副市長
建設交通部長
- 5 報告内容 (1) 浸水状況の現象把握・メカニズム解明について
① ドローンを活用した現地測量（3D）
② 徳定川流域に係る浸水実績図の作成
(2) 学生の住環境・避難行動について
① 避難に関するアンケート実施
② 避難所の検討
③ 避難行動パターンの解析

<日本大学工学部「キャンパス強靱化プロジェクト」>

令和元年東日本台風により、日本大学工学部では、キャンパス及びその
周辺の学生居住地域等において、甚大な浸水被害が発生しました。

このため、災害に関する現象を正確に把握するとともに 災害の詳細なメカ
ニズムの解明や、キャンパス周辺の学生居住地域における住環境に関する調査
研究を行うため、「キャンパス強靱化プロジェクト」を設置しました。

この度、5回の会議を踏まえ、今年度の成果をとりまとめた報告会を開催し
ます。